

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 28 年 11 月 10 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新及び LPG 焚吸収式冷温水機から都市ガスヒートポンプへの更新プロジェクト□
プロジェクト番号	KC1126
排出削減事業者名	岩田食品株式会社□
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	岩田食品株式会社 本社工場 (住所：愛知県一宮市萩原町松山 566-8)
事業の概要	工場への蒸気供給を A 重油ボイラから高効率の都市ガスボイラに、また空調を LPG 焚吸収式冷温水機から都市ガスヒートポンプへ更新することで、省エネルギーを図り CO2 排出量を削減するとともに、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することによって、CO2 排出量を削減する。□
排出削減量の計画	2011 年度 343 tCO2 2012 年度 1,031 tCO2 2013 年度 997tCO2 2014 年度～2018 年度 1,053tCO2/年 2019 年度 703tCO2 (事業実施期間合計 8,339 tCO2)
クレジット 認証期間	開始日 2011 年 12 月 1 日 終了予定日 2019 年 11 月 30 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」 方法論番号 004 「空調設備の更新」

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年3月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,929tCO ₂ （2013年4月1日～2016年3月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第3回目実績報告のため、N/A 2) 対象期間中の設備稼働確認 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績、月報により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 モニタリング対象指標の実績値内容を確認し、承認事業計画に従って、都市ガス使用量がメーター値を基に集計・算定されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への質問、活動量の実績データの検証、排出削減量算定の検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。ボイラー更新に関する、都市ガス消費実績値データと、事業実施前及び

	<p>実施後のデータの確認と保存が適切になされているのを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている排出係数等が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.5 によるデータ及び排出削減事業計画であることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2019年11月30日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、

【001 ボイラーの更新】については、原油換算 130.9kl

【004 空調設備の更新】については、原油換算 12.8kl

であることを確認した。